

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2022年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	
工期	令和4年4月25日 ~ 令和5年3月31日		作成者	小瀬 裕之	
作業名称	円形水路用グレーチング取替工(Ⓣひるがの高原SA臨時駐車場)	作業手順書	作成年月日	令和4年4月22日	
使用機械 使用設備 (具体的な名称・クラスを記す)	材料運搬車両 1台		現場責任者	目黒サイン	
使用工具 機器 (大きさと太さは具体的な寸法を記す)	円形水路用グレーチング(グレーチング、受枠、固定ボルト)、合材		元請確認		
保護具	インパクト、ラチェット、ホウキ、ブロワー、サンダー(鉄刃、コンクリート刃)、コンクリートカッター		改正年月日	作業順序	
	ハンマードリル、スコップ、六角レンチ、パール、ハンドタンパー				
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特)の区別を記す)	ヘルメット、フォック、安全靴、手袋、警笛		1		準備作業
	準中型免許(8t未満)、振動工具(特)		2		積み込み
作業人員 (当作業に関わる役割と人員を全て記す)	責任者 1人、運転手 人、作業員 人		3		運搬
	合計 名		4		現地確認
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)		5		撤去
	周知会実施日		6		設置
			7	後片付け	
			8		

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
リスクレベル	5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知					

作業項目	内容	留意事項	危険性・有害性の洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	危険性・有害性の除去・低減のための実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	機械・道具の点検	日常点検により機械・道具の動作の確認							
積み込み	材料、機材の積み込み	材料運搬車に積み込み	グレーチングを積み込む際に、手・指を挟み負傷する。	△	×	△×	4		手袋の着用と、降ろす際は一気に降ろさず端から降ろす。
	荷の固定を行う	トラック系はロープ、ハイエース系は重しにて固定する。							
運搬	Ⓣひるがの高原SAへ運搬する	高速道路、側道を使用し運搬する。	カーブで急ハンドルを切り荷崩れを起こす。	△	×	△×	4		運転中は急ハンドルを切るような運転を行わなくてもいいように、周囲確認や速度の超過に気を付ける。
現地確認	作業箇所確認	現地KYにより危険のポイントを確認							
	周辺安全確認	構造物の位置を確認							
撤去	施工箇所のマーキング	斫る箇所のマーキングを行う。							
	舗装撤去	ハンマードリルを使用し、舗装を撤去する。	舗装撤去時に、隣接している作業員と接触し負傷させる。	△	×	△×	4		隣接作業がある場合は声掛けを行い優先順位をつけ、同時作業は行わない。
	グレーチング、受枠の撤去	固定ボルトを外し、グレーチング・受枠を撤去する。	グレーチング・受枠を外す時に、力任せに外そうとし、腰などを負傷する。	△	△	△△	3		ボルトを外し終わっていることを確認したら、パール等で少し浮き上がらせ、持ち上ることを確認した後取り外す。
	受枠撤去後の清掃	ホウキやブロワーで、受枠を外した箇所の清掃を行う。							
設置	受枠の設置	アンカーの位置を確認しながら受枠を設置しボルト締めを行う。	ボルトを設置する時にボルト・ワッシャー・工具を円形水路用に落とす。	△	○	△○	2		受枠の隙間を養生テープなどで塞ぎ、物が落ちないようにする。
	グレーチングの設置	受枠にグレーチングをはめ込みボルトで固定し、樹脂製キャップを取り付ける。	グレーチングをはめ込む際に受枠とグレーチングの間に指を挟み負傷する。	△	△	△△	3		グレーチングをはめ込む際は片側からはめ込み、指を挟まないよう枕木などを使用する。(2人で行う際は声掛けを行う)
	舗設	新った箇所を合材にて舗設し、タンパーで締め固める。	タンパーを使用時に、隣接する作業員の手足を負傷させる。	△	×	△×	4		安全靴の着用。隣接作業がある場合は声掛けをし優先順位をつけ、同時作業を行わない。
	清掃	斫り片やゴミなどの清掃を行う。							
後片付け	現場確認	ボルトの締め忘れや忘れ物がないか確認する。							
	車両・道具整備・後片付け	車両の整備 道具の損傷有無確認							